

## 中村拓人

### 2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Nakamura, T., Koyama, S., Nagayama, H., & Sasada, S., 2024年07月, 英語, Participation questionnaire for preschoolers with autism spectrum disorder: Item development., 査読あり, Occupational Therapy International, 2024 (1), 4573526, 10.1155/2024/4573526
- 2) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Nakamura, T., Nagayama, H., & Sasada, S., 2024年11月, 英語, Development and validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: Structural validity, internal consistency, and construct validity. , 査読あり, Physical & Occupational Therapy In Pediatrics, Published online, 1-16, 10.1080/01942638.2024.2421856
- 3) 原著論文, 共著者, Maruyama, S., Miyamoto, R., Amano, S., Nakamura, T., & Bontje, P., 2024年04月, 英語, Examining Minimal Important Change of the Self-Assessment Scale of Clinical Reasoning in Occupational Therapy., 査読あり, Journal of Occupational Therapy Education, 8(2), 9., 10.26681/jote.2024.080209

### 3. その他の著作

- 1) Nakamura, T., Koshio, I., Maruyama, S., Ikeda, K., Nagayama, H., & Sasada, S., 2024年12月, Longitudinal Measurement Properties of the Participation Questionnaire for Preschoolers: Reliability, Responsiveness, and Interpretability., medRxiv, <https://doi.org/10.1101/2024.12.13.24318179>, プレプリント

### 4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, Takuto Nakamura, Hiroyasu Shiozu, Hirofumi Nagayama., Effectiveness of Occupational Performance Coaching for Children and Caregivers: A Scoping Review. , 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月
- 2) 口頭, 共同研究者, Kentaro Goto, Takuto Nakamura, Satoshi Sasada., Characteristics of Child Maltreatment Prevention in Japanese Occupational Therapy: A Qualitative Descriptive Analysis. , 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月
- 3) ポスター, 共同研究者, Koki Kura, Takuto Nakamura, Satoru Amano, Kayoko Takahashi., A scoping review of home-centered occupational therapy for children with neurodevelopmental disorders and their families., 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月

- 4) ポスター, 共同研究者, Sho Maruyama, Reiko Miyamoto, Satoru Amano, Takuto Nakamura, Peter Bontje., Interpretability of the self-assessment scale of clinical reasoning in occupational therapy (SA-CROT): Minimal important change in fieldwork., 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月
- 5) 口頭, 筆頭者・責任者, 中村拓人, 小塩育, 丸山祥, 池田公平, 長山洋史, 笹田哲, こどもの参加質問紙の縦断的測定特性: 信頼性、反応性、解釈可能性, 第13回日本発達系作業療法学会学術大会(東京), 2025年03月
- 6) 口頭, 筆頭者・責任者, 中村拓人, 小塩育, 丸山祥, 池田公平, 長山洋史, 笹田哲, こどもの参加質問紙: テスト再テスト信頼性、反応性、解釈可能性の検証, 神奈川県立保健福祉大学研究発表会(横須賀), 2025年03月
- 7) 口頭, 共同研究者, 後藤 健太郎, 中村 拓人, 濱田 匠, 池田 公平, 笹田 哲, 作業療法分野における児童虐待に係る研究: スコーピングレビュー, 第58回日本作業療法学会(札幌), 2024年11月
- 8) ポスター, 共同研究者, 山本 健太, 中村 拓人, 母親の主体性を引き出す保護者支援OPCを活用して介入した1事例, 第58回日本作業療法学会(札幌), 2024年11月
- 9) 口頭, 共同研究者, 後藤健太郎, 池田公平, 中村拓人, 濱田匠, 笹田哲, 作業療法領域の児童虐待に係るScope Review, 日本子ども虐待防止学会第30回学術集会(高松), 2024年11月
- 10) 口頭, 共同研究者, 小塩育, 中村拓人, 長山洋史, 自閉スペクトラム症の未就学児のメンタルヘルス: Strengths and Difficulties Questionnaireの潜在移行分析, 第13回日本発達系作業療法学会学術大会(東京), 2025年03月

#### 5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人 神奈川県作業療法士会, 学術誌神奈川作業療法編集委員, 2023. 4. 1~
- 2) ヒューマンサービス学会, 第2回ヒューマンサービス学会学術集会実行委員, 2023. 4. 1~
- 3) 一般社団法人 神奈川県作業療法士会, 臨床実習指導者講習会世話人, 2023. 4. 1~
- 4) 一般社団法人 神奈川県作業療法士会, 神奈川県作業療法士会選挙管理委員, 2022. 9. 1~

#### 6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 運営担当, 2018. 4. 1~
- 2) 高校訪問 県立横浜平沼高校, 2024. 9
- 3) 高校訪問 県立相模原高校, 2024. 9

#### 8. 学会等での活動

- 1) 第20回東京都作業療法学会 シンポジスト, 2024. 7. 14

## 9. 学内教育活動

作業適用学, 2024. 4, 科目責任者を務める. 新入生が作業療法に対する具体的なイメージを持つことができるよう, 講義だけではなく、視聴覚教材や, ワークショップ形式も採用した。また専攻教員に協力を求め, グループに別れて事例を検討する問題解決型の授業を行った。また, 見学実習を運営するなど, 学生の学習経験が担保されるよう工夫した。

評価学概論, 2024. 8, 「QOL・役割・興味の評価」の回を担当した。

保健福祉医療 I, 2024. 8, 補助教員として授業のサポートを担当した。

評価学実習, 2024. 8, 科目責任者を務める。

発達系評価学, 2024. 4, 補助としてほとんどの講義に参加し, およそ半分程度の講義を受け持つ。実際の子どもの様子や作業療法場면을視聴覚教材を豊富に併用するとともに, 学生が主体的に参加できるよう問題解決型の授業を行った。

発達障害作業療法学, 2024. 10, 補助としてほとんどの講義に参加し, およそ半分程度の講義を受け持つ。実際の子どもの様子や作業療法場면을視聴覚教材を豊富に併用するとともに, 学生が主体的に参加できるよう問題解決型の授業を行った。

総合臨床実習 I, 2025. 1, 科目責任者を務める。

発達障害作業療法学演習, 2024. 4, 補助として全ての講義に参加し, およそ8割程度の授業を担当する。

遊び余暇活動治療学, 2024. 10, 補助として全ての講義に参加し, およそ8割程度の授業を担当する。

地域作業療法学, 2024. 4, 1～2コマの講義を担当した。

感覚運動アプローチ論, 2024. 4, 1～2コマの講義を担当した。

作業療法研究法, 2024. 4, 1～2コマの講義を担当した。

臨床作業用法学演習, 2024. 10, 実技試験 (OSCE) を担当した。

## 10. 学内各種委員会活動

- 1) 動物実験専門部会委員, 2024. 4

## 11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (B), 分担者, 長山 洋史, 池田 公平, 中村 拓人, 友利 幸之介, 岸 知輝, 山内 慶太, リハビリテーションの効果を最大化するシステム構築, 18, 590千円, 2024年04月, 2029年03月

## 12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究), 代表者, 笹田 哲, 長山 洋史, 自閉スペクトラム症児の行動特性サブタイプと参加への影響: 潜在移行分析, 300千円, 2024年04月, 2025年03月

### 13. 受賞

- 1) 第13回日本発達系作業療法学会学術大会, 大会長特別賞, 2025年03月